

令和6年度 第9回さぬき市地域未来づくり会議 会議要旨

開催日時	令和7年3月24日（月）午後7時～午後8時30分
場 所	さぬき市役所附属棟 多目的室
出席者	[委員・コーディネーター] 計5名 折原委員、砂川委員（WEB）、長町委員、池田委員、黒川コーディネーター
	[事務局] 計4名 向井審議監 プロジェクト推進室：大山室長、原田室長補佐、谷本主査
欠席者	なし
傍聴者	1名
次第	1 開会 2 活動報告資料の作成について 3 その他 4 閉会
配布資料	次第
発言者	意見概要
座長	前回の続きになるが、今日は実際の報告資料を作成していきたい。前回の会議でワンストップ窓口での提案内容を載せた方が良いという意見があり事務局でまとめていただいたのでまずは共有したい。
事務局	（資料説明）
座長	提案に対する対応は実際どのような感じか。
事務局	ストライクの提案というものがなかなかないが、提案いただいた方の中には機会があれば積極的に提案させていただくとおっしゃっていただいたものもある。また、市でもテーマを設けて募集することを庁内で働きかけてみようと考えている。
座長	こういう取組をしているということをメディアが取り上げてくれれば良いと思う。報告資料の作成に移るが、後半の移住サイトのところだが、ここはホームページのリニューアルに合わせて良い事例を参考に見直すという提案が分かりやすいと思う。それ以外のところで、例えば移住体験ハウスについては90日という期間のところをもう少し短縮するべきではないかという具体的なところまで書くのか、もしくはそういったことも含め、そもそもの移住サポート体制のあり方をサイトのリニューアルに合わせて見直すべきではないかといった提案にするのかは考える必要がある。移住体験ハウスについては、予約が埋まっていたので諦めたという人に会ったことがある。会議でも議論になったが、安宿として利用する

	<p>人をどうするかという問題がある。方法としては、料金を上げて本気で移住を検討している人しか利用できないようにすることと事前の面談をしっかりとすることが考えられる。料金は4,000円くらいにすると移住を検討している人は出せる金額だと思うが、それ以上となるとハードルが高いと思う。移住体験ツアーや案内は既に行っているし、制度の紹介も手厚くしている。今は来たいと思っている人が来られない状況があるので適切な日数設定が必要だ。前回の会議では、窓口業務の内、土日の対応だけを民間委託するのはどうかというところで話が終わっていたので、移住支援体制の改善という形にして民間委託する提案ができれば良いと思う。徳島県で移住サポート業務を受託している団体あり、そこが不動産屋や自動車屋を紹介している。最終の形は恐らくそのようなものになると思うが、段階的に、まずは、度合いごとに提案パターンを3つくらい作っておいて、最後の質問でどういう形が良いと思うかを聞いてみることも良いと思う。レベル1が相談窓口としてオンラインや土日の相談業務を委託することではどうか。また、移住体験ハウスや広報のところをどうするかは考える必要があるが、最後はやはり仕事の紹介だと思う。</p>
委員	<p>予算が必要となれば難しいのではないか。</p>
座長	<p>予算感で言えば土日だけの相談業務だと比較的小額な気がする。レベル2が移住体験ハウスと地域の案内を民間委託することではどうか。窓口業務全てを民間委託するパターンもあるかもしれない。オンラインの良いところは移住体験ハウスが予約で埋まっていた時に宿泊費助成制度を案内できるところだ。レベル3で仕事探しを提案することもできると思う。役割分担を明確にしてより連携を取る形にすることが大事だと思う。</p>
委員	<p>シンプルに相談窓口の体制強化でも良いと思う。既にやっていることは続けつつより他のリソースでやることを広げるイメージだ。</p>
事務局	<p>湯沢町の取組の効果などを示してはどうか。</p>
座長	<p>支援制度の数自体は実は差がないという見せ方も必要だと思うが、見せ方には予算が高くなるので職業紹介とセットで民間側に稼ぐキャッシュポイントを持ってもらいつつ、広報の良さも民間側に出してもらえない気がする。レベル3で湯沢町の取組に近づくイメージだ。レベル1に「まずはここから」ということを書いておくと良いかもしれない。実際、レベル3からいきなりやることはできないと思う。あとは民間のイメージみたいなところに地域おこし協力隊を導入することや、まちづくり団体や不動産屋などの移住に関して連携した組織体に委託することも明記しても良いかもしれない。最後は質問したいことを確認するという形にしてはどうか。</p>

委員	市長から質問をいただく形はどうか。
座長	移住支援の中で重要視していることは何かを聞くことは良いかもしれない。現地に来ていただくことが大事なのか、気軽に相談できることが大事なのかによって違う気はする。
委員	移住におけるさぬき市の方向性とかを確認しても良いと思う。
座長	他に何か気が付くところはあるか。
事務局	データをもらい次回の会議の時までに事務局としての意見をまとめておきたい。
座長	次回で最終チェックをして発表ということで良いか。
事務局	次回は事務局からの意見を伝えさせていただくほか、当日の役割分担や発表をいつにするのかも決めていただきたい。
座長	了解した。地域未来づくり会議自体は当初思い描いていたような動きになっているのか。
事務局	第１期としての今回の会議では市全体の課題を見つけて、それに対する提案を行い、その中でそれ実現するための方法として官民連携のワンストップ窓口が開設できた。その上で、移住支援の方法についても議論いただき提案いただけるということで、この会議が目指す方向性には合っていると思う。
座長	今後は、エリア全体からもう少しエリアを絞り、より具体度を上げることや今使っている制度を使いながらできることも議論していく余地はあると思う。
事務局	官民連携ワンストップ窓口のことも工夫して活かしていくことも大事だと思う。
座長	ワンストップ窓口については、メディア露出が大事だと思う。
事務局	一つでも実現できた事例ができれば良いと思う。
座長	視察の時の話でも、最初はネーミングライツぐらいから始めたが、一つ大きな課題が解決できたことは大きいと言っていた。
事務局	コワーキングスペースの話は提案に入れないのか。

座長	提案の４つ目にワークスペースの話を入れてみたいと思う。
委員	ワークスペースの話にするのか移住交流の話にするのかどちらになるのか。
座長	<p>働く場所の確保という点からみるとワークスペースだと思う。企業の移住という感じになると思う。リモートワークは香川県が結構助成金を出しているのでさぬき市として独自の予算が必要という類ではないと思う。今後は資料を確認いただいて、次回、修正と役割分担を決めていきたい。</p> <p>以上で本日の会議は終了する。</p> <p style="text-align: center;">～ 閉会 ～</p>